

【活動事例発表Ⅱ】

学校名 城山高等学校PTA
テーマ 『あなたの背中は今…
～何故、役員を引き受けたのか～』

相模原市北部の自然豊かな環境にある城山高等学校は、地域の期待を背負い昭和50（1975）年に開校しました。以来40年以上経過した中で、全国レベルの大会まで進む部活動も少なくありません。卒業生たちも各界で活躍しています。

いわゆる部活動ではありませんが、平成20（2008）年に「ひまわりクラブ」が発足しています。これは将来幼児教育に携わることを目指して授業で関連科目を選択学習している生徒たちで構成されています。関係機関や近隣施設に出向き、人形劇や手遊び、ハンドベルなどを披露して幼児とふれあい、学習したことを実践しています。今やこの活動は地域から高く評価され今回のPTA協議会大会でも表彰されました。

相模原地域の他校と同様、城山高等学校は自転車通学者が圧倒的に多い学校です。通学路の途中には、知らず知らずのうちにスピードが出てしまう箇所もあります。他校の交通安全委員会に相当するPTAの安心安全委員会は、年に数回、学校近くの交差点で登校時に教職員とともに安全指導をしています。輝城祭文化の部では、自動車学校の協力によりシミュレーターの体験で交通安全の意識向上を図っています。

成人委員会は保護者対象の講習会を開いたり、バス旅行を実施したりして、子どもだけでなく保護者自身の研修に役立ててもらっています。

広報誌「湖城」は広報委員会の取材、編集により校内の様々な活動を紹介し、保護者全員の共通理解を図っています。

ふれあい委員会は環境整備にあたります。この委員会の花植えや除草により、校内の花壇は華やかになり、学校を訪れる人たちの気持ちを和ませています。知られていないかもしれませんが、学校前の県道を挟んで反対側にある「ふれあい花壇」もこの委員会の手によるものです。地域や往来の

人々の目にも楽しめる花壇作りをしています。

校内の美化活動としてペンキ塗りをしています。校内の壁もきれいになり、参加者はペンキの塗るかたや養生テープの使いかたも上手になりました。学校で少し練習してから自宅で本番なんて人は…いません。

学年委員会を中心として、役員・委員は球技大会に豚汁を作り提供しています。十数年前は豚汁を提供する機会が別のイベントであったそうですが、様々な事情により中止、断念したとのこと。皆に喜ばれる復活事業です。

輝城祭体育の部では他校同様、子どもたちに飲み物の提供を行って暑さを凌いで活躍してもらっています。3年生は甚平や浴衣姿で民謡に合わせて踊ります。このとき、女子生徒は可愛い浴衣に着替えますが、この着替えにPTAによる着付けのお手伝いは欠かせません。ステージではこの様子が再現されチームワークの良さが光りました。

これらのPTA活動は数年で軌道に乗ったわけではありません。PTAのOB会組織「宝城会」はその活動を見守り、支援してきました。

多くの学校で役員・委員の選出は悩ましい問題です。城山高等学校も、入学式の後に委員決めをやっていますが、結局くじ引きで決まったということも珍しくありません。では、その後の3年間でどうであったかということ、多くの役員・委員の皆さんが、様々な活動を通して子どもたちの成長を間近で見ていること、同時に自分も今なお成長していることに気がついて、前向きに活動しています。